

カカオ豆に係る調達ガイドライン

当社、および当社事業会社である株式会社 MC アグリアライアンス（以下併せて「当社グループ」）は Olam 社等、グローバルに事業を展開しているパートナー企業と連携し、カカオ事業を幅広く展開しております。

カカオ豆はチョコレートやココアといった菓子類、飲料の他、食品や医薬品、化粧品の原料に使用されます。世界の人口増と各国の経済成長に伴い、その需要は拡大傾向にあります。カカオ豆はガーナ・コートジボワール・エクアドル等を主産地としており、近年、干ばつや洪水、病害虫の被害による収穫量の減少が喫緊の課題となっています。生産者の大半を小規模農家が占めており、貧困による強制労働・児童労働、農地拡大による森林破壊や土壌汚染等の環境および社会課題が懸念されています。

こうした事業環境を踏まえ、当社グループはカカオ豆の持続可能な調達における環境および社会課題への取り組み方針となる「カカオ豆に係る調達ガイドライン」を制定しました。

■ 当社グループにおける基本方針

1. 法令順守：サプライチェーンに係る関係各国の法令を遵守すること。
2. 生態系保全への配慮：違法森林伐採の禁止、適切な水資源の活用、適切な農薬の散布による土壌保護等、生態系保全に配慮したカカオ豆を調達すること。
3. 人権の尊重：貧困からくる強制労働・児童労働の実態把握と是正、適切な労働環境の確保、差別やハラスメント行為の禁止等、サプライチェーン上の労働者の人権に配慮したカカオ豆を調達すること。
4. 地域社会への配慮：事業活動を行う地域社会において、先住民・地域住民の土地や住居の権利を侵害せず、人権に対する責任を果たすこと。

■ 当社グループにおける具体的な取り組み

1. 当社グループのサプライチェーン上の人権・環境デューデリジェンス（持続可能なサプライチェーン調査）を定期的の実施し、リスク評価を行い、対処・対応が必要な場合は是正の働きかけを行う。
2. 社外のステークホルダーからの相談を受け付けるための窓口（グリーバンスメカニズム）を活用し、適時適切に環境・社会性面の問題を特定し、防止・軽減に取り組む。
3. 当社グループ関連企業である Olam 社等サプライヤーと連携し、営農支援、産地労働者への支援等の社会貢献活動を継続する。

4. 生産農家が正当な対価を享受できるよう導入された Living Income Differential¹を支持し、これを適切に納めたサプライソースからのみカカオ豆を購入する。また、持続可能なチョコレートサプライチェーンの構築を目指す World Cocoa Foundation（世界カカオ財団）²に参画する。
5. 「カカオ豆調達目標」を以下の通り定め、持続可能性に配慮したカカオ豆の調達を推進する。

■ カカオ豆調達目標

2030年までに持続可能性に配慮したカカオ豆³の取扱い比率100%を目指す。

以 上

制定：2025年5月1日

¹ Living Income Differential：収入が伸びない生産者の課題解決の為、カカオ世界生産量の6割以上を占める、ガーナ・コートジボアール両国政府による、カカオ豆最低価格方式。

² World Cocoa Foundation：カカオ・チョコレートサプライチェーンに携わるステークホルダー（生産者・加工業者・農協・港湾・倉庫・商社・小売・金融機関）が設立。農家の収入改善・自然資本の回復・児童労働を撲滅し、持続可能なカカオ産業を促進する為の組織。

³ 持続可能性に配慮したカカオ豆：Olam社独自のサステナビリティプログラムである AtSource の基準に適合したカカオ豆、ないしは当社の「持続可能なサプライチェーン行動ガイドライン」に適合したサプライヤーから調達したカカオ豆。